



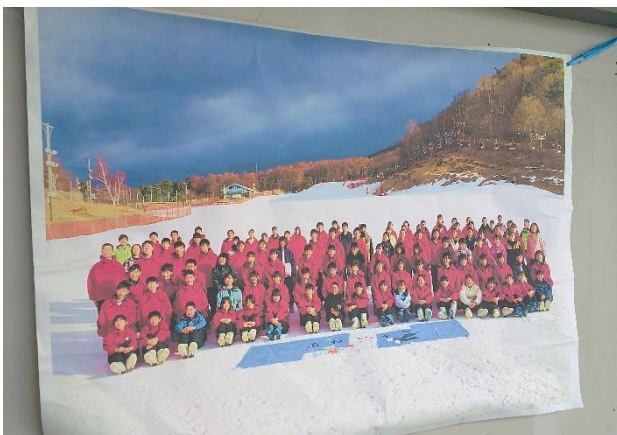
1月17, 18, 19日と2泊3日のスキー教室に行ってきた2年生に向けて、ブロックの3年と1年が話し合っただけで黒板に「おかえり」のメッセージを用意していました。東中の一つの伝統文化です。

「スキー、どうだった？」と質問をすると10人中10人が「楽しかったあー」と答えてくれました。そして、ある子に「どんなところが楽しかったの？」と尋ねてみると、「めちゃ楽しかった」とうれしそうに答えにならない答えをくれました。楽しかった理由を聞いているのに…(笑)。「全部!!」と教えてくれた子もいました。よっぽど楽しかったのでしょう。

あとからそのことを担任の先生に話すと、「まず、スキーが上達したんです。途中でいやになりそうな子もなんとか個別レッスンをしたら、どんどん上達して、やっぱりできるってうれしいですね」と教えてくれました。

1日目の立志の式では、涙を流す子が何人もいて、その後40分間無言で鉛筆を走らせる姿があったそうです。その沈黙がとても心地よかったと教えてくれました。

2日目の「学年タイム」も大爆笑する場面が何度もあったそうです。学年全体が大きく成長する実感があったと話してくれました。



ただ、1日目に急な発熱の子が複数出て、宿泊所の方に病院まで連れて行っていただき、最終的に深夜にお迎えを頼まないといけないケースが出てしまいました。該当する保護者の方にずいぶん心労をおかけしました。職員も臨機応変に深夜まで対応しました。

楽しいこと、心配なこと、いろいろなドラマのあったスキー教室。

廊下に掲示された集合写真で、一人一人のにこにこ笑っている顔を見ながら涙が出そうになりました。ありがとうございました。